

基本方針 2

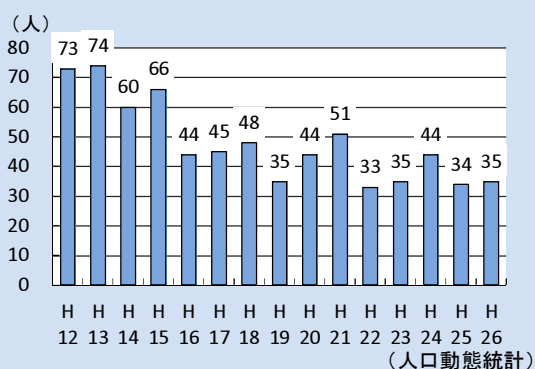
子育て・教育のまちづくり (子育て支援・生涯学習)

分野4 子育てしやすいまちづくりを進めます

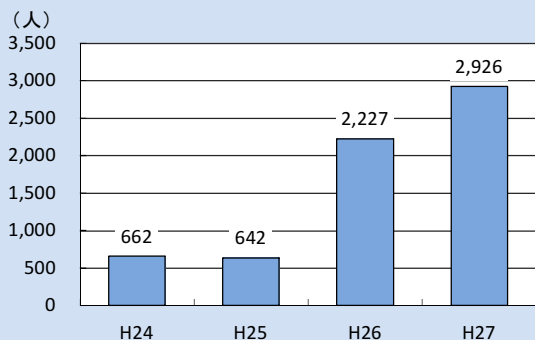
現状と課題

- 町の15歳未満人口は減少が続いており、出生数も減少傾向です。
- 平成27年に策定した紀美野町人口ビジョンを達成するためには、合計特殊出生率を2030年までに1.8まで上昇させる必要があります(2010年は1.25)。
- 子ども数の減少により、教育環境維持のため、今後も学校の統廃合が必要になる可能性があります。

出生数の推移



子育て支援センター利用人数の推移



- 子ども医療費助成を平成28年度より満18歳まで拡大しています。
- 母親の就労状況の変化等を背景に保育ニーズが増加・多様化しています。3歳未満については保育室の不足や保育士の確保の問題で十分な対応ができていません。
- 子育て支援センターの利用者は、開放日の拡大により大幅に増加しています。引き続き子育て支援の充実と子育てしやすい環境づくりに取り組む必要があります。

政策の方針

子育て世帯の経済的支援やニーズに応じた保育サービスの充実等を通じ、子育てしやすいまちづくりを進めます。地域交流や世代間交流を促進し、子どもが大切にされる地域の形成を進めます。

施策 12 育児支援事業の充実

基本事業 1 子育て世代包括支援センター機能の充実

○子育て世代が安心して妊娠・出産・子育てができる環境を実現するため、妊娠期から子育て期にわたるまでの、切れ目ないきめ細かな支援体制の充実を図ります。

◆主な事業◆

妊娠・出産・育児に関する相談・情報提供、連絡調整、支援プランの策定

基本事業 2 母子保健事業の充実

○乳幼児健診や育児相談支援体制の整備など、母子保健対策を推進します。
○保健師・助産師・保育士等の専門家が連携して子育て支援に取り組みます。

◆主な事業◆

乳幼児健診・相談、各種の教室の開催、家庭訪問

基本事業 3 子育て支援プログラムの充実

○子育て支援センター、子育て世代包括支援センター等を拠点として、親の支援や親同士の情報交換、親子のふれあいなどを目的とした各種の子育て支援プログラムを実施します。また、保育士・保健師・栄養士等による相談・助言を行います。

◆主な事業◆

トリプルP（前向き子育てプログラム）

目標指標

町内出生数

29件 → 35件

【平成 27 年度】

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

子育て世代が安心して、妊娠、出産し、前向きに子育てできるよう、各種支援に取り組みます。また、親同士の交流やつながりづくりを支援します。

関連計画

・きみのこどもプラン

・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 13 子育て支援環境の整備

基本事業 1 保育サービスの整備

- 平成 28 年度より土曜保育の全日化を開始しており、今後 3 歳児未満保育の増員や一時預かり等の保育サービス提供を検討します。
- 保護者が仕事と両立できる保育機能の充実を図るとともに、今後の児童数の推移を見極めつつ、保育施設の適切な統合整備を行います。

◆主な事業◆

保育所施設の整備、一時預かり保育の検討

基本事業 2 学童保育の充実

- 学童保育は、保護者の就労等で家庭での保護が得られない児童を対象として開設しており、待機児童のいない状況を継続できるよう、引き続き実施します。
- 児童館・公民館における子どもの居場所の整備を行います。児童館は学校に登校しにくい児童・生徒の支援施設としても活用します。

◆主な事業◆

学童保育事業、児童健全育成事業

基本事業 3 子育て支援センター事業の充実

- 子育て支援センターの相談・交流事業の充実を図り、子育て支援の核として活用します。
- 利用者の意見を参考にし、ニーズに合った子育て支援センター等の事業の充実に努めます。

◆主な事業◆

子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

目標指標

子育て支援センター年間利用者数

2,926 人 → 3,000 人

【平成 27 年度】

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

保護者の就労・子育ての支援を行い、社会参加の促進を図ります。現在の利用者だけではなく、潜在的な利用ニーズの把握に努め、支援機能の充実を図ります。また、地域ぐるみでの子育てしやすい環境づくりを促進します。

関連計画

・きみのこどもプラン

・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 14 出産・子育ての経済的支援

基本事業 1 子ども医療費の支援

○子ども医療費の助成や小児インフルエンザ予防接種費用の助成等を行い、子どもの健康の維持と保護者の負担の軽減を図ります。

◆主な事業◆

18歳までの子ども医療費の助成、小児インフルエンザ予防接種費用の助成

基本事業 2 多子世帯の保育料の減免

○保育所・こども園利用者の利用者負担額の軽減を行い、多子世帯の負担軽減と出生率の向上を図ります。

◆主な事業◆

紀州3人っ子施策

基本事業 3 妊婦健診・不妊治療費用の補助

○妊娠・出産のための費用の補助を行います。

◆主な事業◆

妊婦健康診査費助成事業、一般不妊治療費助成事業、特定不妊治療費助成事業

目標指標

住民意識調査で、保育サービスや子育て支援に「満足」「やや満足」と回答した人の割合

28% → 38%

【平成28年度】

【平成33年度】

住民参加に向けて

子育て世代が希望する子どもを持てるよう、子育て支援の充実について住民理解の促進に努め、子どもを産み育てやすいまちづくりを進めます。

関連計画

・きみのこどもプラン

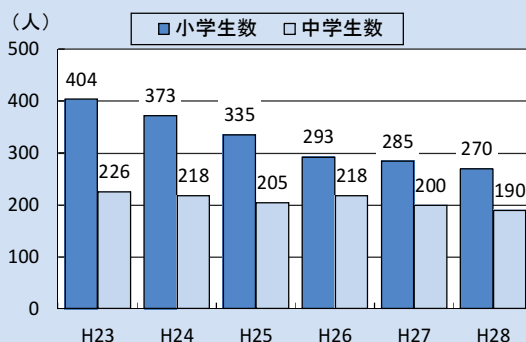
・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

分野5 学校教育を充実させ、次世代を育成します

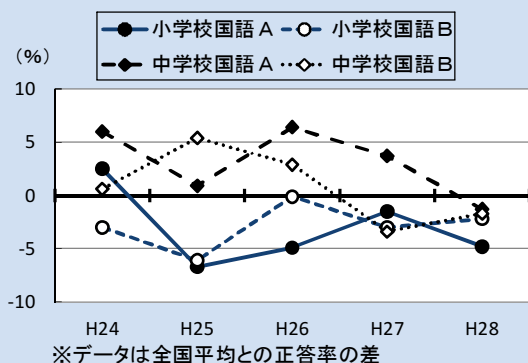
現状と課題

- 子ども数の減少にともない、小学校・中学校の在籍児童・生徒数が減少しています。学校規模の適正化に向けた学校統廃合の検討が必要となっており、それに合わせた通学手段の確保や教育施設の整備が求められます。
- 校舎の耐震化や給食室の整備が完了しています。空調設備の整備やICT機器の更新など、教育施設・設備の充実が引き続き課題です。

町立小中学校の児童・生徒数の推移



全国学力・学習状況調査結果（国語）の推移



- 学校教育支援員の配置やALT教員の増員、スクールカウンセラーの配置等、学校教育の充実のための環境整備を進めています。
- 地域人材の活用や高等学校との連携など、地域の特色を生かした活動にも、継続して取り組む必要があります。
- 特別支援教育の充実や相談支援体制の整備など、多様なニーズに対応できる学校づくりが求められています。

政策の方針

学校規模の適正化や、地域と一体となった学校づくり、安全で学習効果の高い教育環境の整備を進め、児童・生徒の個性や社会の変化、地域課題などに対応した教育を推進するとともに、平等な教育機会の保障と確かな学力の育成を図ります。

施策 15 学校教育環境の充実

基本事業 1 教育施設の整備

- 学校施設の日常的な修繕・改修を行います。老朽化した校舎については計画的な長寿命化を図ります。
- 新たな教育ニーズに対応できる教材備品等の充実に努めます。

◆主な事業◆

教材備品や図書の整備、空調施設の整備、ICT機器の更新

基本事業 2 安心・安全な通学環境の確保

- 地域の実情に応じてスクールバスを運行し、児童・生徒の負担軽減と安全な通学の確保に努めます。
- 安全・安心な通学環境を確保できるよう、教育委員会と学校・家庭・地域の連携を図り、歩道整備や子どもたちの見守り活動を推進します。

◆主な事業◆

登下校の見守り活動の推進、スクールバスの運行維持

基本事業 3 学校規模の適正化

- 将来的に児童・生徒数の見通しに基づき、適正な学校規模の確保に向けた学校の統廃合を検討します。
- 統廃合の検討にあたっては、子どもの教育環境の悪化を招かないよう十分に配慮するとともに、地域住民の参画を図ります。

◆主な事業◆

学校統廃合に向けた検討の場づくり

目標指標

学校評価アンケートで小中学校の教育について「満足」「やや満足」と回答した保護者の割合

83% → 85%

【平成 27 年度】

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

学校の統廃合については、地域住民の参画を得て検討を進めます。子どもの見守り活動など、学校支援活動への住民の協力を促進し、地域とともに子どもの教育に取り組む環境を醸成します。

関連計画

- ・紀美野町教育大綱
- ・学校教育基本方針
- ・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 16 教育内容の充実

基本事業 1 確かな学力の育成

- 確かな学力、確かな体力、確かな判断力の育成を基本に、地域の資源を生かしながら学校教育の充実を進めていきます。
- 地域の実情に応じて学校独自で計画・実施する教育・課題解決の取り組みを支援します。
- 学習指導要領の改訂に備え、新しい教育課題への対応を進めます。

◆主な事業◆
道徳教育の充実、アクティブ・ラーニングの導入

基本事業 2 グローバル社会に対応した力の育成

- A L T（外国語指導助手）の増員による英語教育の充実を進めます。
- 教育用・校務用コンピューター及び周辺機器・ソフト等の I C T設備の充実とそれらを活用した教育の推進を図ります。

◆主な事業◆
A L Tを活用した英語教育の強化

基本事業 3 教職員の指導力の向上

- 教職員の研修の充実と研究の支援を行い、指導力の向上を図ります。
- 教職員がそれぞれの専門性を発揮し、力量を向上させられる職場環境の確保に努めます。

◆主な事業◆
研究授業の開催、教職員研修の実施

目標指標

全国学力学習状況調査結果

全国水準



全国水準
以上

【平成 28 年度】

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

確かな力の育成のためには家庭との連携が不可欠であり、P T A活動や各種の情報提供を通じ、家庭の教育力の向上を図るとともに、学校との信頼関係の構築、教育における連携の促進に取り組めます。

関連計画

- ・紀美野町教育大綱
- ・学校教育基本方針
- ・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 17 多様なニーズに対応した教育の充実

基本事業 1 健康教育・食育の充実

- 定期的な健康診断や体力テストの結果による指導を行います。
- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう食育を推進します。

◆主な事業◆

学校医・歯科医による診断・検査

基本事業 2 相談支援体制の充実

- スクールカウンセラー等の配置による、児童・生徒、教職員、保護者の相談支援体制の整備を進めます。
- 不登校児童・生徒の支援やいじめの防止等に対応できる体制を整備します。

◆主な事業◆

スクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの配置

基本事業 3 特別支援教育の充実

- 障害のある児童・生徒に対して、関係機関と連携し、一人ひとりに応じた教育が行えるよう、適切な教育的支援を進めます。
- 障害の有無にかかわらずともに学ぶ教育環境づくり（インクルーシブ教育システムの構築）に向け、支援体制の強化に努めます。

◆主な事業◆

特別支援員の配置

目標指標

不登校児童・生徒の割合

0.4% → 0%

【平成 28 年度】

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

近年の学校においては、児童・生徒の支援ニーズが多様化し、学校だけでは対応が難しくなっています。住民が地域の学校に関心を持ち、学校のニーズに応じた支援ができるよう、情報発信と体制整備に努めます。

関連計画

- ・ 紀美野町教育大綱
- ・ 学校教育基本方針
- ・ 紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 18 地域と連携した教育の推進

基本事業 1 地域人材・地域資源との連携・協働

- 豊かな自然環境や学習施設を生かした教育を推進します。
- 体験学習等における地域人材の活用や地域団体との連携を推進します。

◆主な事業◆

天文台と連携した教育プログラムの実施

基本事業 2 高校・大学等との連携

- 町内の高等学校のボランティア活動の受け入れや地域との交流を促進し、学校と地域との連携を深めるとともに、郷土愛の育成を図ります。
- 大学等の教育研究機関と連携し、体験学習や情報交換等を推進します。また、学校へのボランティア・インターンシップ等の受け入れを推進します。

◆主な事業◆

地元高校生による読み聞かせや昔遊び活動

基本事業 3 青少年育成活動の推進

- 青少年の健全育成をめざし、関係機関・団体、地域、家庭との連携強化のもと、育成活動の意義と重要性の周知に努め、人材の育成や各種団体への支援を図ります。
- 学校、民生委員・児童委員、関係機関等と連携した青少年の相談体制の充実を図ります。

◆主な事業◆

補導活動、少年メッセージ大会

目標指標

小中学校 1 校あたりの体験学習等の
外部人材活用延べ人数

41 人

【平成 28 年度】



50 人

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

学校運営への地域住民の参加や地域の教育資源の効果的な活用など、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育む環境づくりを進めます。受け入れ校の負担も考慮した地域連携の拡大を図ります。

関連計画

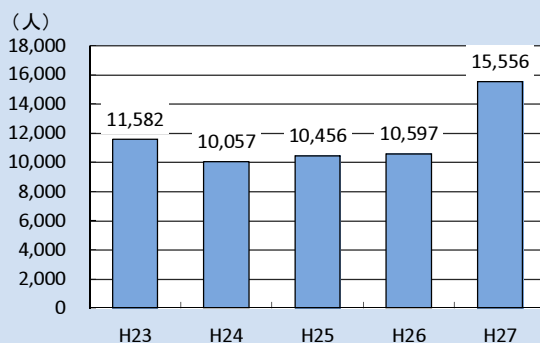
- ・ 紀美野町教育大綱
- ・ 学校教育基本方針
- ・ 紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

分野6 生涯学習と文化・スポーツ活動の環境を整えます

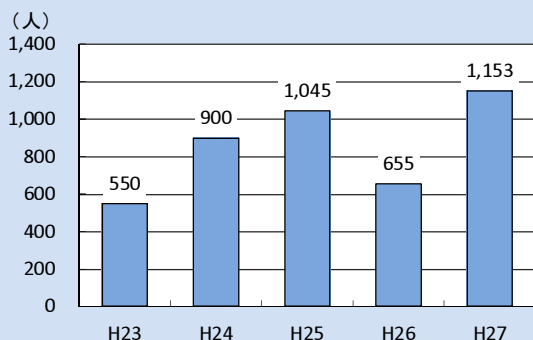
現状と課題

- 生涯学習計画に基づき、概ね計画通りに事業の実施やサークルの支援に取り組んでいます。
- 図書システムの導入により、異なる施設間での貸出・返却が可能となり利便性が向上しています。
- 町の特徴である天文台の各方面での活用が課題です。

みさと天文台来館者数の推移



町民大学講座受講者数



- 生涯学習施設については、利用者数と運用コスト等を考慮しつつ、予約システムの導入が検討課題となっています。
- 競技者数の減少や指導者の高齢化がスポーツ振興における課題となっています。
- 文化祭・文化協会展については参加者の高齢化が進んでおり、若い世代の参加を促進する必要があります。

政策の方針

さまざまな学習成果が地域社会・まちづくりに還元されるよう努めるとともに、住民の主体的な学習を支援します。町の特徴である天文台の活用や文化活動・生涯スポーツの推進、歴史文化遺産の適切な保全・継承に取り組めます。

施策 19 生涯学習支援体制の整備

基本事業 1 グループ・サークルの支援

- 公民館・文化センターを地域活動の拠点として整備し、グループ・サークルが利用しやすい施設の整備を進めます。
- 継続的なグループ・サークルの育成につながる情報提供や指導者の紹介、学習機会の提供を行うとともに、町ホームページを通じて活動サークルの情報発信を支援します。
- 人材登録システムを整備し、指導者の発掘・育成を進めます。

◆主な事業◆

公民館・文化センター貸館事業、人材登録制度の整備

基本事業 2 学習機会の提供

- 各世代に対応した学習プログラムの企画やさまざまな学習の場を提供します。
- 社会教育指導員、町民大学運営委員を配置し、町民大学講座や各種イベントを実施します。

◆主な事業◆

町民大学講座

基本事業 3 交流活動の促進

- 公民館・文化センターの活動に世代間交流や郷土学習等を取り入れ、住民相互の交流の促進や地域コミュニティの発展を図ります。
- 地域課題の解決やまちづくり活動に取り組むグループの育成を視野に入れた学習事業の企画等を検討します。

◆主な事業◆

ふれあいルーム、共育コミュニティ事業

目標指標

住民意識調査で、生涯学習などの施設や事業に「満足」「やや満足」と回答した人の割合

25%

【平成 28 年度】



35%

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

住民の自主的な学習活動が活性化されるよう、支援と環境整備を行います。学習機会の提供が自主活動の促進や地域協働のまちづくりに還元されるような働きかけを進めます。

関連計画

- ・紀美野町教育大綱
- ・生涯学習振興計画
- ・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 20 生涯学習施設の整備

基本事業 1 公民館・文化センターの維持管理

○中央公民館と文化センターを生涯学習の拠点として、幅広い利用に備えた施設の整備を進めます。

○AV機器の充実等、今日的な学習支援に対応した設備の充実を図ります。

○利用者数と運用コスト等を考慮しつつ、予約システムの導入を検討します。

◆主な事業◆

社会教育施設の維持管理

基本事業 2 天文台事業の充実

○本町の特徴である天文台の学校教育・生涯学習への幅広い活用に向け、魅力的なプログラムの開発を進めるとともに、美しい星空の町であることが地域の誇りとなるよう取り組みます。

○町外・県外からの集客が可能な施設であることを生かし、観光振興やまちづくりを進めます。

◆主な事業◆

観望会（星空体験会）、天文教室（講演会や工作等イベント）

基本事業 3 図書室の充実

○図書システムの導入による利便性の向上を利用の増加につなげるよう取り組みます。

○常に新鮮な資料や情報機器の整備を行い、住民にとって魅力的な図書室の整備を進めます。

◆主な事業◆

図書室の管理運営

目標指標

みさと天文台来館者数

15,556 人 → 20,000 人

【平成 27 年度】

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

生涯学習施設は利用者の固定化傾向が課題になっています。現在の利用者だけではなく、幅広い住民のニーズや要望の反映に努め、多くの人々が利用したいと思う魅力的な施設の整備を進めます。

関連計画

- ・紀美野町教育大綱
- ・生涯学習振興計画
- ・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 21 スポーツ環境の整備

基本事業 1 スポーツ施設の有効活用

- 地域住民やスポーツ団体と連携し、気軽にスポーツを楽しむことができるようスポーツ公園等の有効活用に取り組みます。地域スポーツ団体と連携し、大会の開催等による施設の活用を図ります。
- 既存の社会体育施設や学校体育施設の開放を積極的に進め、地域に根ざした魅力あるスポーツ活動ができる環境整備に努めます。

◆主な事業◆

スポーツ施設の維持・管理、学校施設の開放、スポーツ団体の支援

基本事業 2 指導者・団体の育成

- 各種スポーツ団体との連携により幅広く指導者を確保し、活動の活性化と組織強化・拡大に努めます。
- 体育協会をはじめ各種スポーツ団体の活動に対し補助金を交付します。

◆主な事業◆

審判講習会の実施、社会登録団体の育成

基本事業 3 生涯スポーツ活動の推進

- ホームページでの競技内容の紹介やルールブックの掲載などの情報発信を進め、誰もがスポーツに取り組みやすい環境づくりに努めます。
- 競技者の減少や高齢化が進んでいる種目が増加しており、若い世代の参加の促進を図ります。

◆主な事業◆

パークゴルフ・ゲートゴルフの普及

目標指標

スポーツイベント参加者数

2,504人 → 2,500人

【平成 27 年度】

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

社会体育団体と連携し、子どもから大人まで幅広い住民がスポーツを楽しめる生涯スポーツ環境の充実を目指します。競技団体の自立した運営に向けた支援のあり方を検討します。

関連計画

- ・紀美野町教育大綱
- ・生涯スポーツ振興計画
- ・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 22 地域文化活動の促進

基本事業 1 サークル・団体の活動支援

- 文化祭・文化協会展を開催し、住民の文化活動の発表と相互交流の機会を提供します。
- 町ホームページでの各種サークルの案内等、文化活動への参加者の拡大を支援します。

◆主な事業◆

文化祭・文化協会展の開催

基本事業 2 文化事業の展開

- 文化センター自主事業を開催し、住民が文化性の高い芸術にふれる機会を提供します。
- みさとホールの特性を生かした利用の促進を図ります。

◆主な事業◆

文化芸術作品の展示、外部競争的資金の活用、みさとホールを活用したまちづくりプロジェクト会議

基本事業 3 歴史文化遺産の保全と継承

- 新たな文化財の発掘と既存文化財を後世に継承するための啓発活動を積極的に推進します。
- 歴史文化遺産に関する資料を整備するとともに、情報公開や看板等の設置による住民・訪問者への周知を進めます。

◆主な事業◆

天然記念物の指定、文化財看板の整備

目標指標

文化センター利用者数

29,684 人 → 30,000 人

【平成 27 年度】

【平成 33 年度】

住民参加に向けて

文化センター運営委員会を設け、住民の意見を反映した事業の展開に努めています。地域文化活動の活性化と本町固有の歴史文化遺産の保全・継承を住民と連携して推進します。

関連計画

- ・紀美野町教育大綱
- ・生涯学習振興計画
- ・紀美野町まち・ひと・しごと創生総合戦略